



# お薦めの一冊



## 『民主主義のための社会保障』

香取 照幸 (著)

[出版社] 東洋経済新報社

[発売日] 2021/1/22

[単行本] 296ページ

[価格] 1,980円 (税込)

[ISBN-13] 978-4492701522

[推薦人] KT氏 (60代・男性・東京都) 1級DCプランナー・社会保険労務士 団体職員

[推薦文] 本書では、日本の社会保障をどう改革していくのか、日本が抱えている課題、それを改革していくために社会保障ができること、そして日本の社会保障が果たすべき役割はどんなことかと著者の考えが余すことなく書かれています。今回の新型コロナウイルスの世界的流行は、日本が抱えている潜在的な諸課題を一気に顕在化させました。社会保障は日本の経済を支え、民主主義を支えています。歴史は繰り返す…パンデミック後に何が起るのか、社会保障は成長戦略の柱になると著書は説きます。著者は、年金を改革し介護保険をつくった元厚生労働省官僚です。前著である「教養としての社会保障」と併せて読まれることをぜひお勧めいたします。



## 『お金のむこうに人がいる』

田内 学 (著)

[出版社] ダイヤモンド社

[発売日] 2021/9/29

[単行本] 272ページ

[価格] 1,760円 (税込)

[ISBN-13] 978-4478113721

[推薦人] KO氏 (50代・女性・東京都) 1級DCプランナー 個人事務所代表

[推薦文] 元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが書いた予備知識のいらないやさしい経済の入門書です。専門外である場合、経済学の書籍というと専門用語が登場して、読み進めるとだんだん難しくなる印象がありますが、本書は普段疑問に思っていることが専門用語なしに分かりやすく最後まで解説しています。人を中心にシンプルに経済を捉えて解説しているため、誰でも読みやすいものになっています。また、年金についても触れられており、それが、年金の本質や現在進められている改正の方向性とも合っているように思われる、とても興味深い一冊です。



## 『はじめて手続きする人にもよくわかる障害年金の知識と請求手続ハンドブック 6訂版』

高橋 裕典 (著)

[出版社] 日本法令出版社

[発売日] 2021/9/2

[単行本] 480ページ

[価格] 3,740円 (税込)

[ISBN-13] 978-4539728598

[推薦人] YS氏 (50代・女性・埼玉県) 1級DCプランナー・社会保険労務士 個人事務所代表

[推薦文] 今まで障害年金がどのような病気で受け取れるのかが分かりませんでした。具体的な手続きの流れと書類が病状 (診断書) ごとに説明されており、複雑な障害年金の請求手順がイメージできました。発症から現在の病状を記載するポイントや初診日の捉え方などの注意点に加え、押印不要となった新しい様式も紹介されており、障害年金を理解する上で、大満足の一冊です。



## 『社会的共通資本』

宇沢 弘文 (著)

[出版社] 岩波書店

[発売日] 2000/11/20

[単行本] 239ページ

[価格] 924円 (税込)

[ISBN-13] 978-4004306962

[推薦人] ST氏 (50代・男性・東京都) 1級DCプランナー 個人事務所代表

[推薦文] 昨今、「SDGsの実現を目指したESG投資」という言葉をよく耳にし、目にするようになりました。これらの言葉の本質を理解しないで使っている自分ですが、この考え方、昨日今日、登場したわけではないような気がして過去の書籍をあたってみたところ、20年ほど前に読んだ本書を思い出し、改めて読み返しました。本書は、社会的共通資本の認識と維持に関して、私にでも分かる平易な文章で書かれた経済書です。ESG投資を説明する上で必要となる基本概念の入門書として、一度、手に取って読まれることをお勧めします。